

# 令和7年度 鹿児島工学院専門学校 自己点検・評価

1.

学校教育基本方針 (教育理念)	学校教育法第124条の専修学校の目的と川島学園創立の精神に基づき、高度化・専門化・多様化・国際化の進む社会に即応できるより高度な専門能力とより豊かな資質・個性を備えた全人的職業人を育成する。
教育目標	<p>1. 教師は「教え育てる」を旨とし、「自己啓発」に努め「率先垂範」に心がけ、組織の中にあっては「和合」を旨とする。</p> <p>2. 学生は「自立自興」「不屈不撓」の精神をもって、絶えず学習に専念し、知性・技量を磨き、将来の向上発展を期す。</p> <p>(1) 心・徳の修練：心は言動の基。真心・情熱・信念をもって行動し、信義・礼節を重んじ、心豊かな人格・人徳の向上を図る。</p> <p>(2) 知・技の修練：知は物事を判断する心情。知力・知性・知識の修練に励み、人格形成と同時に技量の向上と奥義を究める。</p> <p>(3) 体・行の修練：体は心の鏡。規則正しい生活習慣を持続し、心身ともに健全な人格の形成に邁進する。</p>

## 2. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標 評価の基準 ( 4 : 適切, 3 : ほぼ適切, 2 : やや不適切, 1 : 不適切)

評価項目	評価
1. 学校の教育理念・教育目標・育成人材像は定められているか	3.5
2. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を中長期的に抱いているか	3.2
3. 各学科の教育目標, 育成人材像は, 学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.1
4. 教育理念・教育目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	3.4

<具体的取り組み>

- ・学校の教育理念・教育目標・育成人材像を全教員が共有し、入学式・オリエンテーション等で学生及び保護者への周知・ホームページでの公表を行っている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・新学科については、未だ認知度も低いと感じているため新学科の方向性を今一度見直す必要がある。定まった時点で、教職員全員が育成人材像や特色等を共有し外部へ周知していく。

(2) 学校運営

評価項目	評価
1. 学園・学校の運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.4
2. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.9
3. 人事、給与に関する制度は整備されているか	3.2
4. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.3
5. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.6
6. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.7

<具体的取り組み>

- ・年度始めの職員会議にて事業計画等は全職員へ周知されている。
- ・ホームページやSNSを活用し積極的な情報発信に努めている

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・学籍簿管理や入学願書受付・受付簿，出欠管理など業務の効率化については，今年度は新システム導入に向けプレテスト期間中であり，次年度本格導入に向け準備中である。

(3) 教育活動

評価項目	評価
1. 教育理念・教育目標・育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）等が策定されているか	3.5
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保が明確にされ、体系的に編成されているか	3.6
3. 関連分野の企業・業界団体等との連携、業界のニーズを踏まえ、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.4
4. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.4
5. 学生の社会的・職業的自立を促すキャリア教育及び実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.3
6. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.2
8. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.5
9. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.2
10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.2
11. 教員の資質向上、指導力向上のための研修等が行われているか	3.4

<具体的取り組み>

- ・今年度より学校教育法が改正されたことを受け、単位数表記と時間数表記について、各関係省庁の基準を確認しやすいよう併記することとした。
- ・新任者へは、夏休み期間中に2年にわたり開催される専修学校協会主催の新任者研修への参加を促し、専修学校教員としての必要な基本知識を身に付けさせている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・他職員の研究授業に参加する余裕がなく、質向上のため何かしら対策が必要と思われる。
- ・新学科では1年次の早期段階で二者面談を実施、学生の希望業種について把握し、夏休み期間中にインターンシップに参加できるよう計画していきたい。

(4) 学修成果

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	3.6
2. 資格取得率の向上が図られているか	3.7
3. 退学率の低減への取組みが適切に行われているか	3.3
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.1
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3.2

<具体的取組み>

- ・卒業生の離職率調査を行い、企業と学生の個性によるミスマッチ改善に繋げることとした（進学者除）  
卒業2年目の離職率15％，勤務継続85％

<今後に向けた取組み・課題・改善策>

- ・卒業生へ定期的な聞き取りを行いつつも、離職者とは連絡が取れないことが多く原因究明に課題が残る。

(5) 学生支援

評価項目	評価
1. 進路・就職に関する支援は適切に行われているか	3.6
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.4
3. 学生の経済的側面に対する支援体制の整備, 修学支援は適切に行われているか	3.8
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.3
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.2
6. 親元を離れている学生の生活環境への支援は行われているか	3.1
7. 保護者と適切に連携しているか	3.6
8. 卒業生への支援体制はあるか	3.0
9. 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	3.3

<具体的取り組み>

- ・昨年度途中(7月)より, スクールカウンセラーを採用し学生・職員のカウンセリングに努めている。
- ・欠席・遅刻が多く一定回数を超えた学生へは, 家庭への文書送付により現状共有を図りながら家庭内での様子の聞き取り調査を行っている。
- ・課外活動について引率等行う機会もあるが, アルコールチェッカーでの検査を含めた運転者の運行前点検を行い安全運転の意識向上に努めている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・卒業生に対してのヒアリング体制の構築が急務である。
- ・職員不足により学生との面談時間の確保が難しい状況である。

(6) 教育環境

評価項目	評価
1. 施設・設備は, 教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9
2. 実習施設, インターンシップ, 国内研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.1
3. 防災に対する体制は整備されているか	3.4

<具体的取り組み>

- ・インターンシップ参加を積極的に促し, 企業風潮確認後に最終決断するように努めた。
- ・防災訓練については, 入学時期直後に時間計測を行いつつ実施している。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・新学科も設立され授業スペースが不足している。クラス全員が一度に実習を行えるだけのスペース確保が困難な場合もあるため, 授業・実習毎の柔軟な工夫が重要課題である。
- ・技術動向に応じた設備導入など, 定期的な更新を行い, 実践的な学びをサポートする環境づくりに努めたい。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
1. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）に基づき、学生募集は適切に行われているか	3.4
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4
3. 公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	3.4
4. 学納金は妥当なものとなっているか	3.4

<具体的取り組み>

- ・学納金については他校同学科等も確認し極端なものになっていないか確認している
- ・学生募集については受け入れ方針などホームページの更新を毎年行っている。
- ・入試に関してはその都度職員全員で合否判定を行い、校長決裁を取っている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・本校職員による学校説明の機会増に努め、入学者増へと繋げたい。
- ・全学科職員が当番で SNS 発信を行っているが、都度工夫しながら閲覧数増となるよう継続していきたい。

(8) 財務

評価項目	評価
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.0
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.0
3. 財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4.0

<具体的取り組み>

- ・修学支援新制度の更なる活用促進を図る。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・限られた予算内で実習ができるように協力企業との連携が不可欠であるため、企業開拓に努めたい。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
1. 法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.4
2. 個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか	3.5
3. 自己点検・評価の実施と問題点の改善に努め, また, 結果を公開しているか	3.6

<具体的取り組み>

- ・学生アンケート等の情報から問題点の改善に努めつつ, 毎年結果を更新公開している。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・SNS や紙面 (学校ポスター等) を用いた情報発信などは, 適切な管理体制のもとで慎重に取り扱うよう引き続き心がけていきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.1
2. 学生のボランティア活動を奨励, 支援しているか	3.0

<具体的取り組み>

- ・地域部活動指導やスポーツ大会出場などへの参加基準を校長含め再検討し, 積極的な参加を促した。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・建築系学科に関しては, 課題作品を定期的に街頭展示するなど積極的にイベントへの展示機会を設け, 本校学生の学びと成果を地域社会へ発信した。